

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年4月30日(2015.4.30)

【公表番号】特表2011-521675(P2011-521675A)

【公表日】平成23年7月28日(2011.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2011-030

【出願番号】特願2011-507984(P2011-507984)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/00 (2006.01)

A 6 1 L 15/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/00 3 0 1 M

A 6 1 F 13/00 3 0 1 A

A 6 1 L 15/01

A 6 1 F 13/00 3 0 9

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年3月10日(2015.3.10)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項12

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項12】

腔創傷又は洞創傷で使用するための創傷包帯を製造する方法であって、

(i) ゲル形成繊維を含む布ロールを形成する工程、

(ii) ステッチ縦線でロールを縫う工程、

(iii) ステッチ横線でロールを縫う工程であって、ステッチ横線が、少なくとも2本のステッチ縦線を連結している列で作られている、工程、

(iv) ロールを縦方向に切断してストリップを形成する工程、  
を備えていることを特徴とする方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項13

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項13】

ゲル形成繊維の不織ウェブを作ることによって、布ロールを形成する、  
請求項12記載の方法。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項18

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項18】

2つのロールを縫い合わせる前に、布ロールの上に別の布ロールを重ね合わせる、更なる工程を、備えた、

請求項12記載の方法。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 1 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1 9】

腔創傷又は洞創傷又は術後創傷の治療において使用するための創傷包帯の、製造における、布ロールの使用であって、

そのロールが、ゲル形成纖維を含み、且つ、縦ステッチ線及び横ステッチ線を有している、

ことを特徴とする使用。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 9】

包帯は、0 . 5、1、2、又はそれ以上の、メートル長さを有し、約 0 . 5 cm ~ 1 0 cm の幅、好ましくは 0 . 5 cm ~ 5 cm の幅を有する、形態であってよい。ステッチ縦線は、1 mm ~ 1 0 mm 離れていてよく、好ましくは 2 mm ~ 5 mm 離れていてよい。縦ステッチ線は、本縫いでよく、一般には、かぎ針編み又はチェーンステッチであるが、他のステッチパターンを用いてもよい。横ステッチの列 (row) は、1 mm ~ 1 0 mm 離れていてよく、好ましくは 2 mm ~ 5 mm 離れていてよい。ステッチ横線は、パターンステッチでよく、かぎ針編みでよく、又は、重ね合わされたゲル形成纖維の 2 層間の仕付けステッチでよい。好ましくは、ステッチ線は、テンセル (Tencel) のような糸で作られる。横ステッチは、隣接するステッチ縦線を連結して包帯に横方向の強度を加えるように、機能する。ステッチ横線は、好ましくは、隣接するステッチ縦線の対の間の列 (column) で、列間にステッチフリーギャップを備えて、作られて、縫われたゲル布ロールがギャップで切断されるのを可能とする。これは、ストリップが、ストリップのエッジに横ステッチのルーズ端を作らないで、形成されるのを、可能とする。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 3】

カルボキシメチル化は、例えば、水酸化ナトリウム水溶液のような強アルカリと、モノクロロ酢酸又はその塩と、によって、セルロース系材料を、連続又は同時に処理することによって、実行できる。適切な反応条件は、布の組成と要求されるカルボキシメチル化の度合いとに依存し、当業者にとっては容易に明らかとなることである。それらは、国際公開第 9 3 / 1 2 2 7 5 号、国際公開第 9 4 / 1 6 7 4 6 号、又は国際公開第 0 0 / 0 1 4 2 5 号に記載されているのと同じか類似しており、それらの文献は、読者が更に詳細なことを求める場合に示されるものである。

【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 5】

本発明の別の態様は、腔創傷又は洞創傷で使用するための創傷包帯を製造する方法であり、その方法は、次の工程を備えていることを特徴としている。

- ( i ) ゲル形成纖維を含む布ロールを形成する工程、
- ( ii ) 縦ステッチ線でロールを縫う工程、
- ( iii ) 横ステッチでロールを縫う工程、
- ( iv ) ロールを縦方向に切断してストリップを形成する工程。